

# 令和2年度 簿記実務検定第1級試験問題

会 計

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	売買目的有価証券	建 物
構 築 物	建 設 仮 勘 定	鉱 業 権	そ の 他 有 価 証 券
子 会 社 株 式	未 払 配 当 金	保 証 債 務	資 本 金
資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	新 築 積 立 金
繰 越 利 益 剰 余 金	自 己 株 式	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	売 上
有 価 証 券 利 息	有 価 証 券 売 却 益	保 証 債 務 取 崩 益	仕 入
鉱 業 権 償 却	社 債 利 息	保 証 債 務 費 用	有 価 証 券 売 却 損
子 会 社 株 式 評 価 損			

- a. 売買目的で保有している宮城建設株式会社の社債 額面  $\yen 7,000,000$  のうち  $\yen 4,000,000$  を額面  $\yen 100$  につき  $\yen 98.40$  で売却し、代金は端数利息  $\yen 16,000$  とともに小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。ただし、この額面  $\yen 7,000,000$  の社債は、当期に額面  $\yen 100$  につき  $\yen 97.50$  で買い入れたものであり、同時に買入手数料  $\yen 14,000$  および端数利息  $\yen 7,000$  を支払っている。
- b. かねて、取引銀行で割引いていた山形商店振り出しの約束手形  $\yen 750,000$  が期日に決済されたとの通知を受けた。なお、この手形を割引いたさいに、手形額面金額の2%の保証債務を計上している。
- c. かねて建築を依頼していた本社工屋が完成し、引き渡しを受けたので、建築代金  $\yen 88,000,000$  のうち、すでに支払ってある金額を差し引いて、残額  $\yen 23,000,000$  は小切手を振り出して支払った。なお、取締役会の決議により新築積立金  $\yen 88,000,000$  を取り崩した。
- d. 青森鉱業株式会社(決算年/回 3月31日)は、決算にあたり、生産高比例法を用いて鉱業権を償却した。なお、この鉱業権は  $\yen 150,000,000$  で取得し、当期に18,000トンの採掘量があった。ただし、この鉱区の推定埋蔵量は750,000トンであり、鉱業権の残存価額は零(0)である。
- e. 岩手商事株式会社は、実質的に支配している南北商事株式会社の財政状態が悪化したので、保有する同社の株式300株(帳簿価額  $\yen 15,600,000$ )を実質価額によって評価替えした。なお、南北商事株式会社の資産総額は  $\yen 46,500,000$  負債総額は  $\yen 35,000,000$  で、発行済株式数は500株であり、時価を把握することがきわめて困難と認められる株式である。
- f. 秋田商事株式会社(決算年/回)は、決算にあたり、その他有価証券として保有している次の株式の時価によって評価した。  
 福島商事株式会社 1,500株(帳簿価額 1株につき  $\yen 890$  時価 1株につき  $\yen 960$ )
- g. 東西商事株式会社は、株主総会において、資本金  $\yen 5,500,000$  を減少して、その他資本剰余金を同額増加させうえで、剰余金  $\yen 5,000,000$  の配当を行うことを決議した。これにともない、配当額の10分の1を準備金に計上した。

次の各問いに答えなさい。

(1) 鳥取商事株式会社(決算年/回 3月3/日)の下記の資料によって、

- ① 次の文の  のなかに入る適当な比率を記入しなさい。また、{  }のなかから、いずれか適当な語を選び、その番号を記入しなさい。

商品回転率を商品有高の平均と売上原価を用いて計算すると、第8期は2/0回で、第9期は  ア 回となり、第9期は第8期に比べ、イ{1. 安全性 2. 収益性}が高くなっている。

当座比率により即時の支払能力を判断すると、第8期の  ウ %に対して、第9期は147.5%で、流動比率により短期的な支払能力を判断しても、第8期の207.5%に対して、第9期は  エ %となり、ともに改善されてきている。さらに、負債比率によりオ{3. 短期 4. 長期}の支払能力を判断すると、第8期の78.5%に対して、第9期は  カ %であり、安全性に問題はないと思われる。

- ② 次の金額を求めなさい。

a. 第8期の自己資本      b. 第8期の固定負債      c. 第9期の有形固定資産

資 料

- i 第9期における純資産の部に関する事項

4月/8日 新株式300株を1株につき1.2千円で発行した。ただし、会社法に規定する最高限度額を資本金に組み入れないことにした。

6月27日 株主総会において、次のとおり繰越利益剰余金を配当および処分することを決議した。

利益準備金 140千円      配当金 1,400千円      別途積立金 50千円

3月3/日 当期純利益 1,640千円を計上した。

- ii 比較貸借対照表

比較貸借対照表 (単位:千円)

資 産	第8期	第9期	負債及び純資産	第8期	第9期
現金預金	5,730	( )	支払手形	4,620	4,530
受取手形	3,850	4,250	買掛金	5,795	5,605
売掛金	5,650	5,050	短期借入金	3,240	3,740
有価証券	4,370	4,280	未払法人税等	345	365
商品	9,240	9,090	長期借入金	9,600	9,100
前払費用	210	166	退職給付引当金	( )	3,894
建物	12,100	11,500	資本金	( )	20,180
備品	5,480	( )	資本準備金	2,500	2,680
土地	14,645	14,645	利益準備金	1,300	( )
長期貸付金	1,200	1,200	別途積立金	( )	2,650
	( )	( )	繰越利益剰余金	8,600	( )
	( )	( )		( )	( )

- iii 第8期に関する金額および財務比率

売上原価 193,200千円

売上原価率 80.0%

期首の売上債権 9,820千円

受取勘定回転率 25.0回

(期首と期末の平均による)

期首商品棚卸高 9,160千円

固定比率 95.5%

- iv 第9期に関する金額および財務比率

売上原価 205,296千円

売上原価率 78.0%

受取勘定回転率 28.0回

(期首と期末の平均による)

固定比率 91.5%

- v 第8期・第9期ともに棚卸減耗損

(棚卸減耗費)および商品評価損は発生していない。

(2) 鳥根商事株式会社の決算日における当座預金出納帳の残高は ¥520,000 であり、銀行が発行した当座勘定残高証明書の金額は ¥720,000 であった。そこで、不一致の原因を調査したところ、次の資料を得た。よって、当座預金出納帳の次月繰越高を求めなさい。

資 料

- i 当月分の電気代 ¥50,000 が当座預金口座から引き落とされていたが、当社ではまだ記帳していなかった。

- ii かねて東北商店あてに振り出した小切手 ¥150,000 が、銀行でまだ支払われていなかった。

- iii 買掛金支払いのために小切手 ¥100,000 を作成して記帳していたが、まだ仕入先に渡していなかった。

- (3) 下記の資料により、令和〇2年3月31日（連結決算日）における次の連結貸借対照表の（ア）から（エ）の金額を答えなさい。

連 結 貸 借 対 照 表					
P社		令和〇2年3月31日		(単位：千円)	
諸 資 産	10,100	諸 負 債	6,600		
土 地 (ア)		資 本 金 ( )			
の れ ん (イ)		利 益 剰 余 金 (ウ)			
		非支配株主持分 (エ)			
	( )				

資 料

- i 令和〇2年3月31日における個別財務諸表

貸 借 対 照 表			
P社		令和〇2年3月31日 (単位：千円)	
諸 資 産	5,900	諸 負 債	4,800
土 地	2,000	資 本 金	5,000
子会社株式	3,800	利 益 剰 余 金	1,900
	11,700		11,700

損 益 計 算 書			
P社		令和〇1年4月1日から令和〇2年3月31日まで(単位：千円)	
売上原価	13,400	売上高	17,500
給 料	2,810	受取配当金	210
当期純利益	1,500		
	17,710		17,710

貸 借 対 照 表			
S社		令和〇2年3月31日 (単位：千円)	
諸 資 産	4,200	諸 負 債	1,800
土 地	1,600	資 本 金	3,000
		利 益 剰 余 金	1,000
	5,800		5,800

損 益 計 算 書			
S社		令和〇1年4月1日から令和〇2年3月31日まで(単位：千円)	
売上原価	4,850	売上高	6,500
給 料	1,150		
当期純利益	500		
	6,500		6,500

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

令和〇1年4月1日から令和〇2年3月31日まで(単位：千円)

	資 本 金		利 益 剰 余 金	
	P社	S社	P社	S社
当期首残高	5,000	3,000	1,200	800
当期変動額			△800	△300
剰余金の配当				
当期純利益			1,500	500
当期末残高	5,000	3,000	1,900	1,000

- ii P社は、令和〇1年3月31日にS社の発行する株式の70%を3,800千円で取得し支配した。取得日のS社の資本は、資本金3,000千円 利益剰余金800千円であった。なお、S社の令和〇1年3月31日における土地の帳簿価額は1,600千円、時価は1,800千円であった。当期中に土地の売買取引はなかった。また、他の資産および負債の時価は帳簿価額に等しかった。
- iii のれんは償却期間を20年間とし、定額法により償却する。
- iv 当期中にS社が計上した純利益は500千円であった。
- v 当期中にS社が支払った配当金は300千円であった。
- vi P社とS社相互間の債権・債務の取引はなかった。
- vii P社とS社相互間で売買された資産はなかった。

3

次の各文の□にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

- a. 財務諸表を作成する場合、固定資産の減価償却の方法などの重要な会計方針を□ア□するなどして、利害関係者に対し、企業の状況に関する判断を誤らせないようにしなければならない。これは□イ□の原則によるものである。
- b. 固定資産の通常の維持・管理および現状を回復させるための支出を□ウ□という。この支出を費用として計上せずに、資産として処理した場合には、純利益は□エ□に計上される。

- |      |   |       |   |   |      |   |   |      |   |      |   |
|------|---|-------|---|---|------|---|---|------|---|------|---|
| 1. 注 | 記 | 2. 重  | 要 | 性 | 3. 明 | 瞭 | 性 | 4. 継 | 続 | 性    |   |
| 5. 合 | 併 | 6. 転  |   | 記 | 7. 資 | 本 | 的 | 支    | 出 | 8. 過 | 大 |
| 9. 過 | 小 | 10. 収 | 益 | 的 | 支    | 出 |   |      |   |      |   |

4

岡山商事株式会社の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項によって、

- (1) 報告式の貸借対照表を完成しなさい。
- (2) 報告式の損益計算書（営業利益まで）を完成しなさい。
- (3) 損益計算書に記載する税引前当期純利益の金額を求めなさい。

ただし、i 会社計算規則によること。

ii 会計期間は令和〇/年4月/日から令和〇2年3月3/日までとする。

#### 元帳勘定残高

現金	¥ 1,612,000	当座預金	¥ 2,125,000	受取手形	¥ 2,200,000
売掛金	3,150,000	貸倒引当金	15,000	売買目的有価証券	1,170,000
繰越商品	2,340,000	仮払法人税等	450,000	建物	7,500,000
建物減価償却累計額	1,650,000	備品	3,500,000	備品減価償却累計額	1,260,000
土地	3,185,000	建設仮勘定	4,800,000	満期保有目的債券	1,944,000
支払手形	701,000	買掛金	2,102,000	長期借入金	4,000,000
退職給付引当金	1,067,000	資本金	14,000,000	資本準備金	1,900,000
利益準備金	1,300,000	別途積立金	830,000	繰越利益剰余金	564,000
売上	78,389,000	受取地代	480,000	受取配当金	102,000
有価証券利息	20,000	有価証券売却益	140,000	仕入	61,218,000
給料	8,127,000	発送費	874,000	広告料	1,592,000
支払家賃	1,416,000	消耗品費	102,000	保険料	540,000
租税公課	273,000	雑費	174,000	支払利息	88,000
固定資産除却損	140,000				

#### 付記事項

- ① 広島商店に対する売掛金 ¥150,000 を期日前に受け取り、契約によって割引をおこない、割引額を差し引いた金額を同店振り出しの小切手 ¥147,000 で受け取っていたが、未記帳であった。
- ② 所有する満期保有目的の債券について、期限の到来した利札 ¥20,000 が記入もれになっていた。

#### 決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高
 

	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	原価	正味売却価額
A 品	1,500個	1,400個	@ ¥920	@ ¥1,200
B 品	1,300〃	1,300〃	〃〃 800	〃〃 750

ただし、棚卸減耗損（棚卸減耗費）および商品評価損は売上原価の内訳項目とする。
- b. 貸倒見積高
 

受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 有価証券評価高
 

保有する株式は次のとおりである。

売買目的有価証券：山口産業株式会社 300株 時価 1株 ¥4,000

満期保有目的債券：償却原価法によって ¥1,952,000 に評価する。

なお、満期日は令和〇8年3月3/日である。
- d. 減価償却高
 

建物：取得原価 ¥7,500,000 残存価額は零(0) 耐用年数は50年とし、定額法により計算している。

備品：取得原価 ¥3,500,000 毎期の償却率を20%とし、定率法により計算している。
- e. 保険料前払高 ¥ 60,000
- f. 利息未払高
 

長期借入金に対する利息は、利率年2.4%で、2月末と8月末に経過した6か月分を支払う契約となっており、未払高を計上する。
- g. 退職給付引当金繰入額 ¥802,000
- h. 法人税・住民税及び事業税額 ¥954,000

令和2年度 簿記実務検定 1級 **会 計** [解答用紙]

**1**

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

<b>1</b> 得点		<b>2</b> 得点		<b>3</b> 得点		<b>4</b> 得点		総得点	
----------------	--	----------------	--	----------------	--	----------------	--	-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号

**2**

(1)

①

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
回		%	%		%

②

a	第8期の自己資本	千円
b	第8期の固定負債	千円
c	第9期の有形固定資産	千円

(2)

当座預金出納帳の次月繰越高  $\neq$ 

(3)

ア	千円
イ	千円
ウ	千円
エ	千円

**3**

ア	イ	ウ	エ

**2**

得点

**3**

得点

4

(1)

岡山商事株式会社

## 貸借対照表

令和〇2年3月31日

(単位：円)

## 資産の部

## I 流動資産

1. 現金預金	( )	( )
2. 受取手形	( )	( )
貸倒引当金	( )	( )
3. 売掛金	( )	( )
貸倒引当金	( )	( )
4. ( )	( )	( )
5. ( )	( )	( )
6. ( )	( )	( )

流動資産合計

( )

## II 固定資産

## (1) 有形固定資産

1. 建物	7,500,000	( )
減価償却累計額	( )	( )
2. 備品	3,500,000	( )
減価償却累計額	( )	( )
3. 土地		3,185,000
4. 建設仮勘定		4,800,000
有形固定資産合計	( )	( )

## (2) 投資その他の資産

1. 投資有価証券	( )	( )
投資その他の資産合計	( )	( )

固定資産合計

( )

資産合計

( )

## 負債の部

## I 流動負債

1. 支払手形	701,000	( )
2. 買掛金	2,102,000	( )
3. ( )	( )	( )
4. ( )	( )	( )
流動負債合計	( )	( )

## II 固定負債

1. 長期借入金	4,000,000	( )
2. ( )	( )	( )

固定負債合計

( )

負債合計

( )

## 純資産の部

## I 株主資本

(1) 資本金		14,000,000
(2) 資本剰余金		
1. 資本準備金	1,900,000	
資本剰余金合計		1,900,000
(3) 利益剰余金		
1. 利益準備金	1,300,000	
2. その他利益剰余金		
① 別途積立金	830,000	
② 繰越利益剰余金	( )	
利益剰余金合計	( )	( )
株主資本合計	( )	( )
純資産合計	( )	( )
負債及び純資産合計	( )	( )

(2) 損益計算書

岡山商事株式会社 令和〇/年々月/日から令和〇2年3月3/日まで (単位:円)

I 売上高			78,389,000
II 売上原価			
1. 期首商品棚卸高	2,340,000		
2. 当期商品仕入高	( )		
合計	( )		
3. 期末商品棚卸高	( )		
4. ( )	( )		
5. ( )	( )	( )	
売上総利益		( )	
III 販売費及び一般管理費			
1. 給料	8,127,000		
2. 発送費	874,000		
3. 広告料	1,592,000		
4. ( )	( )		
5. 減価償却費	( )		
6. ( )	( )		
7. 支払家賃	1,416,000		
8. 消耗品費	102,000		
9. 保険料	( )		
10. 租税公課	273,000		
11. ( )	( )	( )	
営業利益		( )	

(3)

損益計算書に記載する税引前当期純利益 ㄱ

4	
得点	

令和2年度 簿記実務検定 1級 会計〔解答〕

借 方		貸 方		
a	当座預金	3,952,000	売買目的有価証券	3,908,000
			有価証券売却益	28,000
			有価証券利息	16,000
b	保証債務	15,000	保証債務取崩益	15,000
c	建 物	88,000,000	建設仮勘定	65,000,000
	新築積立金	88,000,000	当座預金	23,000,000
			繰越利益剰余金	88,000,000
d	鉱業権償却	3,600,000	鉱業権	3,600,000
e	子会社株式評価損	8,700,000	子会社株式	8,700,000
f	その他有価証券	105,000	その他有価証券評価差額金	105,000
g	資 本 金	5,500,000	その他資本剰余金	5,500,000
	その他資本剰余金	5,500,000	未払配当金	5,000,000
			資本準備金	500,000

2

(1)

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
22.4 回	2	140.0 %	212.5 %	4	76.5 %

(2)

a	第8期の自己資本	35,000 千円
b	第8期の固定負債	13,475 千円
c	第9期の有形固定資産	31,374 千円

(2)

当座預金出納帳の次月繰越高	≠	570,000
---------------	---	---------

(3)

ア	3,800	千円
イ	950	千円
ウ	1,990	千円
エ	1,260	千円

3

ア	イ	ウ	エ
1	3	10	8

4

(1)

岡山商事株式会社		貸借対照表		(単位：円)	
		令和〇2年3月31日			
		資産の部			
<b>I 流動資産</b>					
1. 現金預金		( 3,904,000 )			
2. 受取手形	( 2,200,000 )				
貸倒引当金	( 22,000 )	( 2,178,000 )			
3. 売掛金	( 3,000,000 )				
貸倒引当金	( 30,000 )	( 2,970,000 )			
4. (有価証券)		( 1,200,000 )			
5. (商品)		( 2,263,000 )			
6. (前払費用)		( 60,000 )			
流動資産合計			( 12,575,000 )		
<b>II 固定資産</b>					
(1) 有形固定資産					
1. 建物	7,500,000				
減価償却累計額	( 1,800,000 )	( 5,700,000 )			
2. 備品	3,500,000				
減価償却累計額	( 1,708,000 )	( 1,792,000 )			
3. 土地	3,185,000				
4. 建設仮勘定	4,800,000				
有形固定資産合計		( 15,477,000 )			
(2) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券		( 1,952,000 )			
投資その他の資産合計		( 1,952,000 )			
固定資産合計		( 17,429,000 )			
資産合計		( 30,004,000 )			
<b>負債の部</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 支払手形	701,000				
2. 買掛金	2,102,000				
3. (未払費用)	( 8,000 )				
4. (未払法人税等)	( 504,000 )				
流動負債合計		( 3,315,000 )			
<b>II 固定負債</b>					
1. 長期借入金	4,000,000				
2. (退職給付引当金)	( 1,869,000 )				
固定負債合計		( 5,869,000 )			
負債合計		( 9,184,000 )			
<b>純資産の部</b>					
<b>I 株主資本</b>					
(1) 資本金 14,000,000					
(2) 資本剰余金					
1. 資本準備金	1,900,000				
資本剰余金合計		1,900,000			
(3) 利益剰余金					
1. 利益準備金	1,300,000				
2. その他利益剰余金					
① 別途積立金	830,000				
② 繰越利益剰余金	( 2,790,000 )				
利益剰余金合計		( 4,920,000 )			
株主資本合計		( 20,820,000 )			
純資産合計		( 20,820,000 )			
負債及び純資産合計		( 30,004,000 )			

(2)

岡山商事株式会社		損益計算書		(単位：円)	
		令和〇2年3月31日まで			
		令和〇2年3月31日まで			
				78,389,000	
<b>I 売上高</b>					
<b>II 売上原価</b>					
1. 期首商品棚卸高	2,340,000				
2. 当期商品仕入高	( 61,218,000 )				
合計	( 63,558,000 )				
3. 期末商品棚卸高	( 2,420,000 )				
	( 61,138,000 )				
4. (棚卸減耗損)	( 92,000 )				
5. (商品評価損)	( 65,000 )	( 61,295,000 )			
売上総利益		( 17,094,000 )			
<b>III 販売費及び一般管理費</b>					
1. 給料	8,127,000				
2. 発送費	874,000				
3. 広告料	1,592,000				
4. (貸倒引当金繰入)	( 37,000 )				
5. 減価償却費	( 598,000 )				
6. (退職給付費用)	( 802,000 )				
7. 支払家賃	1,416,000				
8. 消耗品費	102,000				
9. 保険料	( 480,000 )				
10. 租税公課	273,000				
11. (雑費)	( 174,000 )	( 14,475,000 )			
営業利益		( 2,619,000 )			

(3)

損益計算書に記載する税引前当期純利益	¥ 3,180,000
--------------------	-------------